

東日本大震災犠牲者慰霊 「悲母観世音菩薩像」鑿入式法要

平成二三年九月十一日(日)、午前十一時より身延山久遠寺大本堂において、井上総務大導師のもと、浜島身延山大学長、吉村布教部長が副導師、山内修法師、在院生・僧道実習生が出仕して、東日本大震災犠牲者慰霊「悲母観世音菩薩像」鑿入(のみいれ)式法要(主催・学校法人身延山学園、後援・日蓮宗総本山身延山久遠寺ほか)が行われました。

への希望のために何が出来るかを自問自答し、浜島学長の号令のもと、これまで数次にわたり被災地支援に教職員・学生が赴き、ボランティア活動並びに慰霊法要を展開して参りました。

また身延山大学東洋文化研究所・仏像修復制作室では、日蓮大聖人の神が宿るこの身延山に籍を置き、仏像を彫刻する環境を許されているなかにあつて、罹災し犠牲となられた方々を慰霊する仏像を彫刻し、建立・寄進することが復興へ向けた身延山大学としての使命であると考え、この度「悲母観世音菩薩像建立」



「鑿入之儀」を行う井上総務

を發願するに至りました。法要では、大本堂の御宝前に悲母観世音菩薩像の材料となるエゾ松材が安置され、法華経読誦の後、吉村布教部長修法師のもと山内修法師による御宝前宝樂加持が行われました。続いて井上総務、吉家岩手県宗務所副長、浜島学長、吉田身延山大学客員教授、柳本身延山大学教授の順で初

鑿を入れる「鑿入之儀」を行
いました。その後祖訓『如説
修行抄』諷誦、唱題の後、導
師による回向では、東日本大
震災被災地の早期復興、殉難
者への追善菩提を願うと共に、
悲母観世音菩薩像制作期間中
の作業安全が祈念されました。
その後、井上総務が挨拶をさ
れ、浜島学長が謝辞を述べら
れ、法要を終了いたしました。

尚、法要終了後には、本山

報恩閣において報道各
社を集め、今回の鑿入
式法要および悲母観世
音菩薩像制作に関する
記者発表が行われ、N
HKをはじめ民放各社
にてテレビ放映されま
した。

寄進先・建立予定地
岩手県被災地 以後宮城、

福島両県に順次建立予定

今後の日程

立上式

平成二四年三月十一日（一周

忌）岩手県遠野市

開眼、慰霊法要

平成二五年三月十一日（三回

忌）岩手県被災地

制作・彫刻・所管

身延山大学東洋文化研究所仏

像修復制作室 柳本伊左雄教

授、研究生、学生



悲母観世音菩薩像のデッサン